

2016 出展票『光とホログラフィ』

1. 出展者

| | |
|--------------|--|
| チーム名 | 光とホログラフィ |
| 出展法人 | 多摩美術大学 |
| 実行責任者（リーダー） | 檜山茂雄（多摩美術大学 造形表現学部 映像演劇学科 准教授） |
| 責任者補佐（副リーダー） | 佐藤甲癸（元湘南工科大学 教授） 石川 洵（石川光学造形研究所 代表） |
| 協力スタッフ | 平 曜（映像演劇学科助手） 映像演劇学科 4 年生 8 名 |

2. 出展内容

「見る」プログラム

<概要>

光のもつ波エネルギーの性質をとらえ、レーザー使用による、新しい世界・ナノワールドを紹介展示します。一般にはホログラム記録・ホログラフィ技術といわれるもので、次世代の高密度・高情報記録再生方法として注目されています。

本展示はレーザーによるホログラム記録・ホログラフィ技術で作られた 3D の画像記録のしくみをとおして作られた、静止画から動画・映画・映像世界の近未来を観て考える機会とした展示です。

展示設営プラン・全体としてホログラフィ映画・ホログラフィ TV

■ホログラフィ動画・映画研究作品をメインにしたコーナー。

ホログラフィ映画装置第2弾（1993年NTT共同研究。3分。昨年のは第1弾です。）

約20年前に製作された物で、1995年科学技術館で1ヶ月ほど公開した。

1993年NTT共同研究の実験機をベースに公開用にモディファイした。

特殊スクリーンを利用した世界的にも貴重な物。縦・横・高さ・重量(80×120×175cm、100Kg)

■檜山作品・学生のホログラム作品コーナー。

■佐藤甲癸氏による3DTV・電子ホログラフィ紹介コーナー。(パソコン・パネル展示)

1. CDを用いた回折格子のデモ。

2. 計算機合成ホログラムのデモ。

3. ”ホログラム立体テレビの伝送と再生”の研究紹介

■石川洵氏による光との対話「日時計で遊ぶ」コーナー。(現物展示・パネル展示)

